

I. 新体制への意見

1. 良かったこと

- ① 教会員全員参加し、話し合いができる。
- ② 活動状況が分かり易い。
- ③ 会員相互の理解が深まる。
- ④ アイデアが実現しやすい。(背骨コンディショニングは画期的であった)
- ⑤ 教会に新たな風が吹いてきたような気がする。
- ⑥ チームリーダーが責任をもって委員会を準備し活動できる。

2. 気づいたこと

- ①担当範囲が大きすぎる。
- ②チーム範囲の把握が難しく、実践煩雑箇所あり機能的ではない。
- ③他チーム状況不明
- ④決め事が多すぎる。
- ⑤イベントが多すぎる。
- ⑥牧会に携わるチームがない。

3. 今後に向けたアイデア

- ①修養会の頻度を上げる 2回/年程度
- ②新たな着想が有る場合は速やかに全体に共有する。

4. その他

- ①新体制への移行理由を改めて知りたい。特に役員会の責務について
→役員への女性参加を促したい。これまでの方法では敷居が高く難渋した。業務範囲を財務及び人事に限定することにより障壁が外され、今年度では実現している。役員会に執事も関わることによる教会運営への不備も解消され、求道者対応の時間ができた。教会員全員で関わりとの理念を基に「活動チーム」を策定するに至った。
- ②外部との関わり、活動を重視する。
→宣教活動への一貫であり、教会員も積極的に参加して欲しい。

II. 役員選挙規定改定

主旨の説明 得票数同数の場合の選出に疑義あり(特に抽籤について) 次回役員会にて検討後報告

III. 2026年度予算説明

収入の部に於いて、整合性を取るための創意を募る